

ここにいま

平成28年度西朝明中学校

学校通信 第15号

平成29年3月24日

本日で、平成28年度が修了します。この1年を振り返ってみれば、生徒の皆さんも保護者の皆様も様々なことがあって、感慨深い年であったろうと推察します。

学校は、その機能の全てが生徒の皆さんの学習のためにあるものです。以前からお伝えしているように、教科の学習に限らず、社会性や公共性を学んだり、自主性や協調性を育て、個性を伸張させようとするものです。1年を振り返って、一度、思い返してみてください。ちょっと他人事のように俯瞰して観てもらいたいと思います。その時にはきっと、冷静に眺めることができると思います。

成功したことや感動したこともあったでしょう。それらは、大事にして次の機会にさらに良い方向へ向けましょう。一方、失敗したことや涙したこともあったでしょう。それらは貴重な体験として大切に、次には同じミスはしないと心に留めておきましょう。誰も最初から失敗経験のない人や、最初から成功できるというものではないのですから、ミスを悲観してはいけません。また自分の大切なそして貴重な、たった1度の人生だから、体験や経験は次の機会に生かすことが重要なのです。

生徒会が「不要物アンケート」を実施してくれて本日、修了式の前に生徒の皆さんの前で発表してくれます。「お菓子・CD・ラジオ・時計・スマホ・お金・・・」が不要物として報告される物品だったと記憶しています。本校の約2割の生徒が不要物を校内に持ち込んだことがあり、約半数はそれを目撃し、「見て見ぬふりをしている」というデータでした。

いろいろな意見がありましたが、「学校のルールを守らず得をしている」だからずるい、というのですが、ルールを守らずに自分の値打ちを落としていることを得していると思えますか？ルール違反は得なの？

「西朝明中の生活で認められていない物をもってくるのは良くない」と言ってしまうと、当然のことなので、それまでなのです。

生徒会の役員の皆さんは、ルールに沿った学校生活をおくってほしいと願って、皆さんに呼びかけてくれます。

私が思うのは、単に自分が使うからだけでなく、友達との受け渡しのために持参している人もいるのではないかと、物品を見て感じることです。

でも、一番問題にしたいのは、持ってきてはいけないとわかっている不要物を持ち込んでしまう気持ちや、その人の心の在り様です。

- ・私一人ぐらいなら、わからないだろう
- ・ちょっとぐらいなら、かまわないだろう
- ・ルールが厳しいすぎるから、破ってもいいだろう

という自分に対する甘えが、その行為を許してしまっていないでしょうか？自分を正しく律して生活したい、行動したい、と願っているのでしょうか？自分は、正しくないことを許して平気なほど、身勝手でも構わないと思っているのでしょうか？自分の値打ちは、そんなものだで自分で自分を落としてしまっていないのでしょうか？ルールが厳しいと言うのなら、きちんと手順を踏んでルール改正に持ち込む努力をしたのでしょうか？不正は憎むべきものだ知っているのでしょうか？

自分をおとしめてしまっている自分がいることに気づいているのでしょうか？自分の誇りやプライドは、そんなに安っぽいものですか？と自身に尋ねてください。このように考えてもらうように全校生徒に呼びかけたいな、と生徒会役員には話しま



そのためにも、ほんの短い春休みですが、まず気持ちの準備をきちんとして、次への決意を新たにしておいてください。まずは、健康第一で交通安全も忘れずに。